

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービスであい HOP			
○保護者評価実施期間	令和7年12月8日	～	令和8年2月20日	
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	14	(回答者数)	9
○従業者評価実施期間	令和7年12月8日	～	令和8年2月20日	
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	9	(回答者数)	9
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年2月26日			

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)と思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	職員同士のコミュニケーションが円滑であり、信頼関係が構築されている。	毎週職員ミーティングを開催し、情報共有等を行っている。ミーティングのなかで、振り返りや当日の予定確認を行っている。	職員1人1人が風通しの良い職場環境になるよう努めることが大切と考える。
2	利用者様が楽しく通うことができている。	1人1人に合わせた支援や、いろいろなお友達との関わりをサポートし、ここでしかできない活動、体験を意識している。	職員1人1人が利用者様にとってそれぞれ必要な支援員になれるよう日々接していく。
3	曜日毎に活動内容が決まっており毎日の活動内容が豊富である。	毎日の活動以外にも、季節の行事を行っている。	職員ミーティング等の機会を通じ行った活動を振り返ることでさらなる内容の充実を図っていく。

	事業所の弱み(※)と思われること ※事業所の課題や改善が必要と思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	放課後児童クラブや、地域の他の子どもと活動する機会がない。	どのような形で実地できるのかを把握、検討できていなかった。	他の事業所などとの交流や情報、意見交換を行って、学ぶことも必要かもしれない。
2	家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行えていない。	保護者それぞれに合わせたお子様への関わり方のアドバイス等に活かしていたが、研修の開催や情報提供は行えていなかった。	今後、家族向けの研修等を積極的に情報提供していく。
3	保護者の会のような、事業所、保護者同士が交流できる場を用意できていない。	参加のしやすさなど難しく考えてしまい実行できていなかった。	アンケート調査などを行い参加しやすい形を調査する。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名		公表日				回収数	
放課後等デイサービスであい HOP		令和8年3月24日				14	9
チェック項目		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	7	1	0	1	事業所を見学出来る機会を設ける。 事業所で面談をする機会を設けている。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	7	0	0	2	適切な職員配置が出来る体制を継続して いく。
	3	生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	8	0	0	1	整理整頓、視覚的にもわかりやすい環境 作りを行っている。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	7	1	0	1	感染症対策として、うがい・手洗い・マ スクの着用・換気等を実施し快適に過 せるようにする。
適切 な 支 援 の 提 供	5	子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	8	1	0	0	子どもの発達状況や課題、保護者の方の ニーズや希望を把握し支援計画に反映し ていく。
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	7	1	0	1	支援の質を上げていけるよう努める。
	7	子どものことを十分理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	8	1	0	0	保護者や子供達に合わせた適切な計画を 作成していく。
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	8	0	0	1	保護者からの意見を取り入れ、一人一人 に合った具体的な支援内容を設定してい く。
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	8	0	0	1	今以上のサービス計画、支援を行ってい けるよう努める。
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	8	1	0	0	現状を維持しより向上出来るように心掛 ける。
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会がありますか。	2	2	1	4	地域との交流の機会を設け、取り組んで いきたい。

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
保護者への説明等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	7	2	0	0		今後も丁寧な説明を心掛ける。
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	8	0	1	0		今後も丁寧な説明を心掛け、保護者の信頼を得られるようにしていく。
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	3	2	2	2		今後も各家庭が安心して児童を通所させられるようにサポートしていく。
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	8	0	1	0		学校・相談員等から得た情報を事業所、保護者共に共有し合い、支援に反映させていく。
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	8	0	1	0		保護者から相談を受けた際には児童の様子を踏まえて相談に乗り助言を行っている。
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	7	2	0	0		職員同士で定期的なケース会議や研修を実施し支援の内容や方法を共有・改善していく。
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	1	2	5	1		保護者様にアンケートを取り、父母会等の開催に向け検討していく。
	19 こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	7	1	1	0		苦情があった場合電話やLINEを用い適切な対応が出来るように準備しておく。
	20 こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	8	0	1	0		今後も保護者・児童の負担にならない連絡の方法(電話、対面、LINEなど)を考えていく。
	21 定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	7	1	1	0		LINEを通して行っている。 今後もわかりやすく情報を発信出来るように心掛ける。
22 個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	8	0	0	1		今後も個人情報の取扱いには十分に配慮する。	
非常時等の対応	23 事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	4	3	0	2		定期的にマニュアルの見直しを行い、最新の状況や課題に対応できるように努める。
	24 事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	5	2	0	2		今後も様々な災害に応じた訓練を行っていく。
	25 事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	8	0	0	1		計画の内容を周知し安心感を提供できるようにしていく。
	26 事故等(怪我等を含む。)が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	6	1	1	1		日頃の些細な事から情報共有する個ことで、保護者との信頼関係をより深めていけるように心掛ける。
満足度	27 こどもは安心感をもって通所していますか。	9	0	0	0		子供達が安心して楽しく過ごせるより良い環境づくりをしていく。
	28 こどもは通所を楽しみにしていますか。	9	0	0	0		イベント、日々の活動から子供達と支援員と一緒に楽しめるよう考え企画していく。
	29 事業所の支援に満足していますか。	8	1	0	0		色々な事に柔軟に対応していく。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		放課後等デイサービスであい HOP				公表日	令和8年3月24日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	9	0	利用者の人数等により部屋を分対応している。	活動内容や利用人数に応じて出来る限り広さの調整をしていく。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	7	2	活動内容に応じて人員の調整を適切に行っている。		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	8	1	はじまりの会でその日の出欠をとり活動内容を説明・確認し見通しが立てられるように心掛けている。		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	8	1	活動スペース・送迎車・おもちゃ等、こまめに除菌している。	より良い環境にしていくため整理整頓など細かなところも心掛けていく。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	9	0	必要に応じて部屋を分けられるように準備している。		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	9	0	毎週1回全体会議を行い事業所会議にて個別支援計画に基づく支援目標を確認し支援の統一を心掛けている。	会議等以外の小さなことの共有もおこたらない。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	9	0	毎年アンケート調査を実施し、業務改善を図っています。		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8	1	毎週行われる会議で話し合い、支援の質の向上に努めている。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	5	4	学校などで行われるカンファレンスに参加しどのような事業所・サービスが求められているかを確認し社内でも共有している。		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5	4	毎週行われる会議で話し合い支援の質の向上に努めている。	研修はしっかり行っていきたく考えている。	

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	7	2		
	12	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	9	0	契約時の他、保護者と直接話す機会をもち定期的に現状の課題等をお聞きして計画の策定を行っています。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	8	1	保護者面談を実施し会議の時に内容の確認を行っています。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	8	1	全体会議にて共有の上、管理システム上で常に確認できるようになっています。	
	15	子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	7	2	保護者との面談を通してニーズに合わせた計画をたてている。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	7	2	スタッフ間で支援方法の共有をし児童一人一人の計画に沿った支援を実施している。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	8	1	児童一人一人に合った活動を話し合い立案し支援方法の共有を行っている。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	9	0	音楽・工作・学習・運動等大きく活動は決めているが季節に応じた活動を取り入れたりしている。	
	19	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	9	0	個別では学習の置き改善や工作学習を行い、集団では遊びを通して協調性を養うような活動を状況に応じて計画している。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	7	2	送迎前に送迎表を確認し利用者の出欠確認・活動内容の確認をし役割を共有している。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	4	5	送迎後にミーティングを行い職員同士の業務用ラインにて共有し当日の振り返りや次の日の連絡を行っている。	当日共有できない場合は、翌日またはLINEなどを用い共有していく。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	8	1	活動内容や目標に対する評価等を連絡帳に記載し保護者と共有している。支援終了後のミーティングで検証・改善点等を話し合っている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	8	1	1年に2度程度保護者と面談を行い支援計画の見直しを行っている。	
24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせさせて支援を行っているか。	7	2	放課後等デイサービスガイドラインで示す支援内容を基に児童の発達状況や課題を把握した上で個別の支援内容を設定している。		
25	子どもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	8	1	自己選択や自己決定ができるような声掛けや関わりをスタッフ間で共有している。		

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	7	2	児童発達支援管理責任者や児童及び家庭の状況を把握した者が参画している。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5	4	関係機関との連携ができています。	他にも連携できる機関等を把握し対応をしていきたい。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	9	0	学校の情報は保護者を通して行うとともにホームページ等で確認している。個別の事案に関しては、送迎時に担任とやりとりをしている。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	2	7	必要に応じて文書や電話、会議等で情報交換等を行っている。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	6	3	卒業する児童の必要な情報は全て提供及び共有しその児童やご家族が不安にならないようにサポートを行っている。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	2	7		研修への参加・関係機関への相談や連絡を必要に応じて行っていく。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	1	8	地域の公園や施設等を利用した際、場を共有して遊ぶ機会がある。	交流の場を広げていきたい。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	1	8		積極的に参加できるよう、把握し学んでいきたい。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	9	0	送迎時や連絡帳にて連絡をとり情報を共有し理解している。	
35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	1	8	保護者の対応力向上の為居宅サービス事業所を立ち上げ家族全体のサポートを行っている。	継続して保護者支援にも力を入れていきたい。なんでも相談してもらえる事業所を目指していきたい。	
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	8	1	契約時に説明を行っている。質問があれば随時丁寧に説明をしていく。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	9	0	サービス計画を参考にするとともに保護者との面談を行い思いや願い等を確認して作成している。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	9	0	保護者との面談を通して説明し同意を得ている。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	8	1	送迎時や連絡帳による相談には迅速に対応すると共に必要に応じて面談の場を設け助言や情報提供等の対応を行っている。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	2	7	感染症拡大を考慮し実施を見合わせている。	アンケートを取り参加しやすい形を検討していく。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	9	0	苦情に関する体制整備は契約時に説明を行っている。苦情があった際には迅速に対応し話を傾聴し解決するようにしている。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	8	1	公式ラインを用いて活動やイベントの連絡を配信しています。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	9	0	契約時に個人情報の取り扱いについてご説明の上、同意書に署名を頂いています。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	9	0	障害の程度や状況に応じて柔軟に情報伝達の方法を変えている。出来るだけ負担のない方法を心掛けている。	
45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	2	7	感染症拡大を考慮し実施を見合わせている。	今後は地域に開かれた事業の運営を行っていきたい。	

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	4	5		事故防止・緊急時対応・防犯・感染症対応の各マニュアルを作成し職員や保護者への周知徹底を行う。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7	2	年2回の非難訓練を行っています。訓練は職員・ご利用者で参加しています。	様々な災害を想定して行っていきたい。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	9	0	初回面談時に確認して、記録を残しています。	全職員への周知徹底をより強化していく。
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	9	0	保護者への聞き取りによってアレルギーを把握し、書面に残して対応しています。	全職員への周知徹底をより強化していく。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	7	2	安全計画を策定し、研修と訓練を実施しています。	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	9	0	契約時の面談で保護者に説明しています。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	8	1	ヒヤリハット報告書にまとめ、全職員確認の上、事例集として管理しています。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5	4	児童虐待・施設内虐待・障害者虐待について定期的な勉強会を行っています。	参加しやすい形の開催を検討していく。
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	8	1	利用契約時に、重要事項として説明を行っています。現在、放課後等デイサービス計画への記載のケースはありません。	今後、サービス記録に記載する対応を検討していく。	